

## 中国・四国 香川大会

### 発信！PTAとふるさとのソコチカラ ～空と海 オリーブの国から～

第58回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会香川大会は、7月15日（金）、レクザムホールにおいて、中国・四国地区各県より1,918名の会員が一堂に会し、盛大に開催されました。

開会行事では中四国高P連・泉満会長の、「子どもたちを取り巻く様々な課題の解決のために、PTAに携わる私たち一人ひとりのチカラと地域の再生、ふるさとの活性化が重要である。」と大会テーマに込めた想いに触れた挨拶に続き、全国高P連・佐野元彦会長、香川県教育委員会・西原義一教育長の挨拶、浜田恵造香川県知事、大西秀人高松市長の祝辞をいただきました。

続いて、本県にゆかりのある演出家、宮本亜門氏を講師に迎え、「違うから面白い、違わないから素晴らしい」の演題で講演が行われました。ご自身の幼少期の経験を紹介し、背中を押してくれる人との出会いにより、「違う意見や視点があっという間。そう思えることで小さな自信が芽生えてきた。人生は舞台。自分で脚本を書き、演出するもの。人と違うことを恐れず、目的や志を持って一度きりの人生を無駄にしないでほしい。」と呼びかけられました。

午後からの研究協議では、山口県高P連・一柳大志副会長、香川県高P連・小林康則前副会長の両氏を議長に、3つの実践・研究発表が行われました。「学校教育とPTA」～地域で織り成すふれ愛まつり～と題して、岡山県立井原高校・岡本健博PTA会長、「社会に求められる人づくり」～探究型人材育成とPTA活動～と題して、高知県立高知工業高校・濱渦教邦PTA会長、「被災地交流を通して」と題して、香川県立琴平高校・村岡善邦PTA会長から、それぞれの地域や学校の特性を生かした興味深い内容の発表があり、その後活発な質疑応答が行われ、大変有意義な研究協議となりました。

次に、高校生による発表があり、香川県立琴平高校なぎなた部の音楽に合わせた一糸乱れぬ「リズムなぎなた」の演技、坂出第一高校食物科料理研究部の見事な包丁さばきをみせた「料理パフォーマンス」、香川県立高松商業高校書道部の躍動感あふれる「書道パフォーマンス」を披露し、県内のそれぞれの部を代表する3校の発表は参加者に大きな驚きと感動の波を広げました。

閉会行事では、泉満会長と次期開催県の山口県高P連・板谷正会長による山口県の紹介と挨拶があり、大会は無事終了しました。



今大会では、開会行事において、ボランティア同好会の高校生が手話通訳を行い、日頃の手話学習の成果を披露、また県内の農業科の高校生による生産品販売も大盛況で、地元高校生のソコチカラを存分に発揮しました。